

# 春2団通信

# 2025年夏季活動号

## ボーイ隊 合同長期夏季野営

日程:R7年8月7日(木)~8月12日(火)

場所:岐阜県郡上市大月の森キャンプ場



### 秋山 晃志（中2）

私は、8月7日から8月12日まで、春日井小牧BS隊合同夏季キャンプに参加しました。班長という立場での長期野営は初めてで不安もありましたが、とても良い経験になりました。班をまとめることは難しくて悩みましたが、まずは仲間の考え方や気持ちを聞くことにしました。それから、自分が先に行動することで、班がまとまってきた気がしました。夏季キャンプに参加して、班長として少し成長できたと思います。これからもこの経験を活かしていきたいです。



### 本間 碧（小6）

2025年夏季長期野営に参加しました。僕は初級スカウトで、夏キャンプは初めてなので、緊張と不安、そして少しの楽しみの気持ちを持って参加しました。そこには顔も知らない多くの仲間がありました。特に野外調理を通して、共同作業をしたり、魚のおいしさに驚き合ったりして、心から話せる友達ができました。たまたま豪雨に見舞われましたが、仲間と支え合って不安を乗り越えられました。本当に、行って良かったです。

### 荒木 辰馬（中1）

今回の夏キャンプのテーマは「不便を楽しめ」でした。テーマの中に含まれている不便は野営中にたくさんありました。シャワーが浴びられないこと、4~6日目の雨や、そのせいでテントが乾かず臭かったです。また、私たちは皆、経験が浅いので見直すべきところがたくさんあったと思います。初日に時間が足りず立ちかまどが建てられなかったのは反省点でした。ですが私たちは仲が良く、班長、次長の話をきちんと聞き、全員が火や刃物が使えることが強みです。



### 大石 恵（小6）

2025年の夏キャンプに行きました。最初は良い天気で活動しやすくて、川に入ったときの服もすぐに乾きました。サップは初めて乗りました。みんなでかけ声をかけて乗りました。湖に入ったとき、上の方はまだ温かかったけれど、下の方に足を入れたら冷たかったです。カヌーはみんなで競争して、2位でした。魚をさばくときにはナイフでさばきました。串にさすところが難しかったです。最後の頃雨がとても強くて、カッパを着ていても服が濡れました。くつ下がずっとぬれていて、足が毎日しわしわでした。川の流れが雨のせいで、晴れていた日とはくらべものにならないほど増水していました。帰りのバスではみんなで楽しくおしゃべりをして帰りました。また行きたいです。



## カブ隊

日程:R7年8月9日(土)~8月11日(月祝)  
場所:長野県木曽郡南木曽山麓蘭キャンプ場



### カブ隊長コメント

みんなが楽しみにしていた夏キャンプ。ちょっと寒かった川遊びや、真っ暗闇だった夜間ゲーム。雨の中のキャンプファイヤーとちょうど雨が上がったハイキング。どれもいい思い出になりました。帰りのバスでみんなが寝ている姿を見て、全力で楽しんでくれたと確信しています！これからも楽しい思い出作ろうね。

### 土居陽太（小5）

夏キャンプで1番楽しかったことは班のみんなと部屋で過ごした事です。いろんなことを話したりしてみんなとの仲が深まって嬉しかったです。天気はあまり良くなかったけど川の水は冷たくて涼みました。大変なこともあったけど楽しい思い出がたくさんできました。

### 大野浩輔（小5）

ぼくが、今年の夏キャンプで楽しかったのは川遊びです。その理由は川でのゲームの後の自由時間です。最初は生き物を取ろうとしたけどいなかったから、砂を掘って川をつなげているときが楽しかったです。

大変だったのが2日目のハイキングです。どうしてかというと、道が険しかったからです。だけど最後のつり橋は楽しかったです。夜間ゲームは道が見えなくてこわかったです。



### 鎌田ケビン（小5）

夏キャンプでは最初に川遊びをしました。川遊びでは、川で水をくんで後ろに渡して繰り返すゲームです。二位になれました。川の水はとても冷たく寒かったです。

次は夜間ゲームです。夜間ゲームでは鬼滅の刃の下弦の伍のるいがメインで遊びました

見えにくい糸に触れると鈴が鳴り鈴が鳴ったらアウトです。

最後にスタンツのカブ弁ころりんです。カブ弁ころりんではおむすびころりんのカブ弁バージョンです。

僕はネズミとナレーションをしました。僕はとても緊張したのですが無事に終わってよかったです。



# ビーバー隊

日程:R7年8月10日(日)～8月11日(月祝)  
場所:長野県木曽郡南木曽山麓蘭キャンプ場

## ビーバー隊長コメント

8月10日から11日にみんなで楽しみにしていた夏キャンプに参加しました。  
あいにくの雨模様でしたが、子供たちは元気いっぱい。  
初日は新しい仲間の入隊式を実施。皆で歓迎の拍手を送り、新しいお友達もすぐ笑顔になっていました。  
午後は合羽を着て、雨の中の散策へ。  
濡れた葉っぱやむしたちをかんさつしたり、ドキドキのつり橋わたりにもちょうどせんしたりと自然の中でしか味わえない特別な体験ができました。  
天気にも負けず、仲間と励ましあいながら活動する姿は、とてもたくましく感じました。



## 保護者の感想

- ・雨の中でも、工夫して色々楽しめていたのに驚き。
- ・きつねダンスが、皆が意見を出し合って、短時間で仕上げたのは圧巻。よい経験だと思った。
- ・虫嫌いだったが、環境のせいか慣れてきて、逆に虫が好きになった。
- ・子供は素直で反応が良いから、複数の子供の世話をすることは楽しい
- ・子ども同士で集まれば、環境がどうであれ楽しめると感じた。

# ベンチャー隊 能登半島考察旅行

日程:R7年8月14日(金)～8月16日(日)

目的・目標:

能登半島地震を受け、復興の兆しが見えてきた中訪問し、自然の力を体感し、被災状況を観察し、復興やボランティアなどにどのように携われるかを考える。

行程:

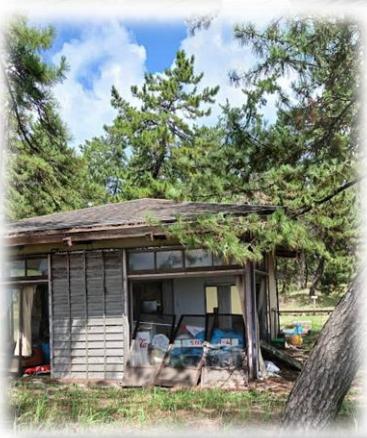
高藏寺駅～名古屋駅(JR)、名古屋駅～金沢駅(夜行バス)、金沢駅～能登空港(バス)～珠洲(バス)、珠洲～宿泊地中居(車で移動)

復路は、金沢駅～名古屋駅(高速バス)

## ベンチャー隊長コメント

春日井第2回ベンチャー隊の夏季活動として、震災にあった能登半島の現状を考察するとともに、観光する1泊3日（夜行バス利用）の旅行をしました。

かつて日本ジャンボリーを2回行ったハケ崎の現状なども確認。震災が起きたときや、震災に備えて自分たちに何ができるのか？を考える考察旅行でした。



## 青木楓征（高1）

VS隊は今年、能登半島地震により被災した町やジャンボリー会場の跡地を訪問しました。

私は今まで能登半島地震についてニュースで見かける程度でしか知りませんでした。しかし、実際に見てみて自然災害の脅威を実感しました。宿泊をさせていただいた家の穴水には地震の影響なのか建物は壊れていないものの人気があまりなかったです。宿泊場所に荷物を置いた後、能登半島の外周を回った際、仮設住宅が多く残っていて壊れた建物等の修繕はされていない場所をよく見かけました。他にも地震により隆起している橋や傾いた電柱など多く残されており復興にはまだ時間がかかりそうです。次の日は金沢へと戻り、観光をした後バス等で移動し解散しました。

私は今回、実際に能登半島を見て、いつ、何が起きても落ち着いて対処できるよう日頃からの備えが大事だと深く思いました。

